

2015 世界アルツハイマーデー 記念講演会 久慈会場

認知症 とともに暮らそう この街で

日時:11月7日(土) 13:00~16:10 開場 12:30~

場所:久慈市文化会館

(アンバーホール・小ホール)

参加費無料

13:00 ~ 14:15 認知症寸劇

「広げよう、ボケへの理解！」

出演:ボランティア劇団 気仙ボケ一座

14:15 ~ 14:30 報告

「久慈市における認知症施策の取組について」

久慈市地域包括支援センター

14:40 ~ 16:10 基調講演

「みんなで支える認知症
~本人らしさを保っていきいきと~」

講師:岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク代表

こんの神経内科・脳神経外科クリニック院長

紺野 敏昭 氏

【事前申込】不要

【問い合わせ】0194-53-4987 (県北広域振興局保健福祉環境部)

0194-61-1557 (久慈市地域包括支援センター)

【共催】

県北広域振興局 久慈市 公益社団法人認知症の人と家族の会岩手県支部

【後援】

厚生労働省 県北広域振興局管内市町村・社会福祉協議会・老人クラブ連合会・民生委員児童委員協議会

特定非営利活動法人北三陸塾

基調講演 講師プロフィール

岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク代表
このの神経内科・脳神経外科クリニック院長

紺野 敏昭 先生

【経歴】

住田町生まれ。岩手医科大学大学院を卒業。県立久慈病院の脳神経外科医長の経験もある。平成10年9月に滝沢市にこのの神経内科・脳神経外科クリニックを開業。認知症に関する講演会を多数行っており、滝沢市の認知症初期集中支援チームの認知症サポート医も務めるなど、地域の認知症対策で活躍中。

【専門】

脳神経外科専門医 神経内科専門医 脳卒中専門医 認知症サポート医 他

認知症寸劇

ボランティア劇団 気仙ボケー座

【経歴】

大船渡市にある認知症専門のデイサービスセンターが中心となり、ボケへの理解をテーマに平成7年に旗揚げしたボランティア劇団。楽しくユーモラスな寸劇を通じて、地域にボケへの理解を広める試みを行っている。県内外で多数の公演経験を持ち、オーストラリアでの公演も行った。

【演目】

- 1 物忘れの違い 「老化」と「認知症」のもの忘れの違いとは？
- 2 ごはん戦争 何度も食事を催促することへの対応や工夫について。
- 3 徘徊騒動 在宅介護では、地域の理解も重要です。地域での理解とは？
- 4 精神余命 「あなたがあなたでいられる時間」が精神余命。
認知症と告知されたら、あなたは どうしますか？